

政策シート 政策名 03 地域医療・地域包括ケアの推進

予算費目名 01 健康医療総務費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・市民の健康を守ることを目的として、緊急時の生命の確保、急病の早期治療など迅速かつ適切な医療サービスを受けられるよう救急医療体制の充実を図った。
・大規模災害時における迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を整備する。そのため関係機関との協議・調査・研究を進めた。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	699,120	714,254	710,740	760,806	761,146	997,309
決算	671,783	641,962	678,569	733,114	731,155	958,060
人件費(報酬等)(A)	24,533	57,680	59,960	66,146	66,562	61,885
人件費(人工分)(B)	186,640	189,500	191,360	192,720	188,280	201,200
年間経費(決算+A+B)	882,956	889,142	929,889	991,980	985,997	1,221,145

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
24時間365日休むことなく実施する救急医療体制の構築(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
救護所の屋内設置数(箇所)	箇所	目標	73	73	73	73	73	73
		実績	73	73	73	73	73	73
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・市民の健康を守ることを目的として、緊急時の生命の確保、急病の早期治療など迅速かつ適切な医療サービスを受けられるよう救急医療体制の充実を図った。
・大規模災害時における迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を整備する。そのため関係機関との協議・調査・研究を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・医療関係団体、医療機関等の協力の下、24時間365日休むことなく救急医療体制を維持することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	健康医療推進事業	-	-		97,696	77,809	2.0	0.5		1.7	193
2	診療所管理運営事業	-	-		70,919	55,371	0.2				18,600
3	救急医療事業	-	○		614,986	438,205	18.0	2.0		6.0	42,721
4	地域医療推進事業	-	○		28,596	24,733	0.7				
5	災害時医療救護対策推進事業	-	○		12,364	8,258	0.9				229
6	看護師等養成事業費助成事業(補助金)	-	-		54,175	54,016	0.1				
7	赤十字病院移転助成事業(補助金)	-	-		113,229	112,529	0.1				
8	予防接種健康被害救済事業	-	-		198,431	209,399	0.3				72
9	自殺対策推進事業	-	-		3,423	758	0.4				70
10	健康医療デジタル運営経費	-	-		12,932	13,170					
11	健康医療運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		14,394	3,061	1.3	0.5		0.3	
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,221,145	997,309	24.0	3.0		8.0	61,885

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 健康医療推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

医療奨励賞の選考、寄付講座の開設等を通じて地域の医療水準向上への取り組みを促す。また、保健医療審議会の場合を通じて、医療関係機関や市民の声を、保健医療行政へ反映させる。さらに、がん対策を推進することで、がんになっても安心して暮らせる地域社会を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1980	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市保健医療審議会条例ほか

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健							
事業とゴールの関連性	地域の医療水準向上への取り組みを促すことや医療関係機関や市民の声を、保健医療行政へ反映させることで、人々の健康的な生活の確保につながる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,121	16,024	44,005	79,638	78,477	77,809
	決算	3,024	7,037	40,883	75,683	75,983	76,943
	国・県支出						
	市債						
	その他	317	635	15,667	10,540	279	543
	一般財源	2,707	6,402	25,216	65,143	75,704	76,400
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		114	202	179	157	256	193
人件費(人工分)(B)		15,420	16,960	18,740	15,240	17,340	20,560
人工	正規	2.1	2.0	2.1	1.6	1.9	2.0
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.8	0.8	0.8	0.8	1.7
年間経費(決算+A+B)		18,558	24,199	59,802	91,080	93,579	97,696

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
保健医療審議会の開催数(回)		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	1	2	2	2	3	2
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 03 01 001051000 01 健康医療課 西崎 公康 2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①保健医療審議会等開催事業 本市の保健医療体制を充実するため保健医療審議会を開催し、保健医療衛生に関する調査審議を行った。また、医療奨励賞選考事業を実施し、市内の医療従事者を対象に、診断・治療方法の開発・改善への取り組みを論文形式で募集し、有識者で構成する審査会にて選考し表彰した。
- ②がん対策推進事業 市内4つのがん診療連携拠点病院等と協力してがん患者の就労支援を行った。また、若年がん患者等支援事業費補助金を交付し、アピアランスケアの支援を実施した。
- ③静岡県アイバンク運営支援事業 眼球提供者の募集及び登録等の事業を実施する公益財団法人静岡県アイバンクの運営に要する経費の一部を助成した。
- ④中学生のための救急蘇生講座支援事業 中学生が応急処置などを学ぶための救急蘇生講座実施に係る負担金を支出した。
- ⑤成育医療学講座事業 本市の成育医療の課題解決に生かすため、浜松医科大学の成育医療に係る教育や学術研究を行う寄付講座に対する負担金を支出した。
- ⑥先進ロボット手術開発学講座事業 浜松医科大学が設置する先進ロボット手術開発学に係る教育や学術研究に対し、その経費を支出した。
- ⑦包括支援推進事業 浜松医科大学が行う地域医療の水準の向上のための調査研究に対する寄付金を支出した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ①保健医療審議会等開催事業 保健医療審議会を2回開催し、中山間地域の医療体制確保に関する基本方針(案)や浜松市がん対策推進計画の進捗状況について協議をした。また、医療奨励賞の選考事業では、12件の論文の応募があり、選考の結果4件を表彰した。
- ②がん対策推進事業 第3次がん対策推進計画の進捗状況を保健医療審議会にて報告した。
- ③静岡県アイバンク運営支援事業 負担金の支出を通じて、献眼の推進に寄与した。
- ④中学生のための救急蘇生講座支援事業 市内27校で事業を実施した。
- ⑤成育医療学講座事業 寄付講座を主宰する浜松医科大学及び市内関係課による浜松成育医療学講座連絡会を年1回開催し、成育医療を取り巻く課題等について意見交換をした。また、浜松医科大学は、浜松成育医療学講座通信を発行し、小・中学校へ周知した。
- ⑥先進ロボット手術開発学講座事業 寄附講座を主宰する浜松医科大学から、先進ロボット手術開発学の教育や学術研究に関する成果の報告を受けた。
- ⑦包括支援推進事業 浜松医科大学が行う地域医療の水準の向上のための調査研究に対する成果の報告を受けた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ①国の小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の開始(2021年4月～)
- ②成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律の成立(2019年12月1日)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

健康医療推進事業は、本市の保健医療施策の基盤となる事業であり、今後も、現状の水準を維持する中で、環境変化に合わせ新たに取り組むべきもの、縮減可能な取り組みを精査していく。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

上記事業を実施することで、地域の医療水準向上への取り組みを促すことや保健医療審議会の場合を通じて、医療関係機関や市民の声を聴き、保健医療行政へ反映させることを継続していく。また、本市の成育医療等の課題解決に生かすため、浜松医科大学が設置する成育医療学講座及び先進ロボット手術開発学講座に加え、新たに設置された循環器疾患地域支援講座に対し負担金を支出するとともに、地域医療水準の向上のための調査研究に対する取り組みに対し寄付金を交付する。

事業シート (事業名) 02 診療所管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民が常に身近な地域で適切な医療が受けられる診療体制の整備を図り安定的に医療を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	-	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市引佐診療所条例 ほか

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市								
事業とゴールの 関連性	医療体制の脆弱なへき地において診療所を運営することが、人々の健康的な生活の確保につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	64,783	62,097	46,124	48,872	47,770	55,371
	決算	52,435	35,256	43,308	41,362	41,415	50,919
	国・県支出		3,000	196	35		
	市債						500
	その他	50,189	31,123	39,174	38,639	38,231	48,362
	一般財源	2,246	1,133	3,938	2,688	3,184	2,057
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		20,353	23,252	24,651	25,230	25,501	18,600
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		74,888	60,608	70,059	67,992	68,316	70,919

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公設の4診療所の合計患者数(人)		目標	7,000	6,464	6,223	6,200	6,200	6,200
		実績	6,209	6,099	5,447	5,244	5,265	5,116
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

市内のへき地においても適切な医療が受けられる体制として、中山間地において4つの市立診療所(引佐鎮玉診療所、引佐渋川出張診療所、引佐伊平診療所、春野歯科診療所)を運営し、市民に安定的医療の提供を行った。また、龍山診療所、龍山歯科診療所等の民営診療所を支援した。

【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 引佐町鎮玉地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営した。
- ②引佐渋川診療所管理運営事業 引佐町渋川地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営した。
- ③引佐伊平診療所管理運営事業 引佐町伊平地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営した。
- ④春野歯科診療所管理運営事業 春野地区住民が適切な歯科医療を受けられるよう歯科診療所を運営した。

【公設・民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業 天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、民営診療所の運営を支援した。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 2024年度 2,260人の患者が受診
- ②引佐渋川診療所管理運営事業 2024年度 406人の患者が受診
- ③引佐伊平診療所管理運営事業 2024年度 681人の患者が受診
- ④春野歯科診療所管理運営事業 2024年度 1,769人の患者が受診

【民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業 天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、龍山歯科診療所等の公設民営診療所の運営を支援した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

過疎化及び高齢化が進む当該地域においても、市民が身近な地域で適切な医療を受けられる体制を維持継続することができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域住民の医療確保のため、現状維持に努める。

事業シート (事業名) 03 救急医療事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

緊急時の生命の確保、急病の早期治療など適切な医療サービスを提供する救急医療体制の充実に図り、市民の健康を守ることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	-	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市夜間救急室条例ほか

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健							
事業とゴールの関連性	救急医療体制を安定的に運営することにより、診療を通じて、人々の健康的な生活の確保につながる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	439,126	432,908	428,912	420,686	444,061	438,205
	決算	428,314	402,357	407,458	409,958	428,960	422,265
	国・県支出	17,992	17,209	25,158	26,544	32,165	17,718
	市債						1,000
	その他	193,770	87,924	113,565	177,974	184,969	160,726
	一般財源	216,552	297,224	268,735	205,440	211,826	242,821
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	3,679	34,226	34,866	40,232	40,200	42,721
	人件費(人工分)(B)	142,840	144,480	144,120	151,500	145,300	150,000
人工	正規	17.0	17.0	17.0	17.9	16.9	18.0
	再任用(31h)	0.4	0.7	0.6	1.6	2.6	2.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	8.0	8.2	8.2	7.3	6.3	6.0
年間経費(決算+A+B)		574,833	581,063	586,444	601,690	614,460	614,986

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
救急医療体制を安定的に運営した日数		目標	365日	365日	365日	365日	366日	365日
		実績	365日	365日	365日	365日	366日	365日
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野
05

基本政策
02

政策
03

予算費目
01

所属コード
001051000

事業

(担当課)
健康医療課

(責任者)
西崎 公康

(基準日)
2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

夜間、土曜日の午後及び休日における救急医療体制を安定的に運営することにより、地域住民が安心できる救急医療を提供した。

市内の救急医療体制は、夜間救急室等軽症患者を受け入れる初期救急医療、手術や入院を必要とする患者を受け入れる2次救急医療、緊急かつ極めて重篤な患者を受け入れる3次救急医療に区分されている。

①夜間救急医療事業:夜間における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営した。

②休日救急医療事業:休日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営した。

③土曜救急医療事業:土曜日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営した。

④入院治療を必要とする重症救急患者の医療を輪番制により行う病院の開設者に対して、病院群輪番制病院設備整備事業に要する経費の一部について、補助金を交付した。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

①夜間救急医療事業 … 初期救急医療 夜間救急室12,870人、2次救急医療 病院群輪番

②休日救急医療事業 … 初期救急医療 天竜休日救急診療所779人、2次救急医療 病院群輪番

③土曜救急医療事業 … 初期救急医療 夜間救急室873人、2次救急医療 病院群輪番

④病院群輪番制病院設備整備費助成事業費 … 1病院に対し補助金を交付した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

診療材料費等の物価高騰による救急医療の実施に必要な費用の増加等。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

救急医療体制については、各医師会や医療機関との連携が必要であり、地域性も考慮する必要がある。現時点で本市の救急医療体制は概ね良好に機能しているが、高齢者の増加に伴う救急搬送件数の増加や物価高騰による救急医療の提供に必要な診療材料費等の経費増加が近年課題となっている。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

各医師会や医療機関の協力の下、市民の皆様には365日24時間体制の安全安心な救急医療を提供する。年末年始における救急医療体制の強化を図る。

事業シート (事業名) 04 地域医療推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

へき地及びへき地に準ずる地区の住民の医療確保を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師等修学資金貸与条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	④教育	⑪都市							
事業とゴールの 関連性		医療資源が少ない地域に対し、患者輸送や地域で働く看護師等を養成することで、人々の健康的な生活を確保につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	13,796	13,535	16,982	20,002	23,337	24,733
	決算	13,113	13,333	16,704	19,710	22,487	23,696
	国・県支出	126	150	1,795	3,537	110	155
	市債						
	その他	12,800	13,000	12,750	15,000	21,000	14,476
	一般財源	187	183	2,159	1,173	1,377	9,065
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	2,120	1,420	2,480	4,900
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.7
	再任用(31h)			0.2	0.2	0.3	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		14,513	14,733	18,824	21,130	24,967	28,596

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
へき地患者輸送車(水窪塩沢線)の年間運行回数(回)		目標	48	48	48	48	48	48
		実績	31	24	36	30	28	26
看護師等修学資金の新規貸与者人数(人)		目標	10	10	9	9	9	9
		実績	9	8	6	6	8	1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	03	01	001051000	04	健康医療課	西崎 公康	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①へき地患者輸送事業 公共交通がなく、へき地に準ずる水窪の塩沢地区から医療機関へバス運行を行い、医療機関への交通手段を確保した。(水窪支所)
 ・運行回数 月2日(4回)のデマンド運行 ・利用料金 1乗車200円(障害者手帳、療育手帳提示者は50%の減免)
- ②天竜区看護師等修学資金貸与事業 天竜区内の病院及び診療所における保健師、看護師及び准看護師の充足を図るため、市長が指定する医療提供施設で一定期間就労することを条件に、看護学生等に修学資金を貸与した。
 ・貸与の対象地区と貸与額 天竜、龍山、春野地区と天竜病院 月額6万円 佐久間、水窪地区 月額8万円
- ③在宅医療ICT推進事業 引佐郡医師会及び磐周医師会に委託し以下の事業を行った。
 ア アンケート調査(天竜区水窪地域住民)
 イ 地域支援看護師を配置し、交通困難者等へのオンライン診療及び無医地区を中心とした健康講座を開催
 ウ 地域課題を極力解決するため、ワーキンググループを開催
- ④中山間地域医療支援事業 中山間地域外医療機関が専門診療科の巡回診療を行うことに対し補助金を執行した。また、春野地域の専門診療科へタクシーで通院する場合の利用料を半額とする業務を実施した。



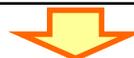
5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ①へき地患者輸送事業 運行回数 26回 運行患者数 38人
 公共交通の運行基準を満たさない水窪町塩沢線において患者輸送車を運行し、医療機関への交通手段を確保した。
- ②天竜区看護師等修学資金貸与事業 11人に対して、修学資金を貸与した。
 内訳:天竜・春野・龍山地区(月額6万円) 新規 0人、継続 5人 佐久間・水窪地区(月額8万円)新規 1人、継続 5人
 ※修学資金の貸与を受け、天竜区内に従事した看護師数 85人(2008年度の事業開始から2025.4.1までの就職者累計)
- ③引佐郡医師会及び磐周医師会に委託し以下の事業を行い医療基盤の充実を図った。
 ア アンケート調査により、地域住民の動向、意見、ニーズを把握した。
 イ 地域支援看護師によるオンライン診療を実施 引佐:23回、天竜:81回
 無医地区を中心に健康講座を開催 引佐:4回(47人)、天竜:10回(135人)
 ウ 地域課題を極力解決するため、ワーキンググループを開催 引佐:2回、春野:5回
- ④中山間地域巡回診療等支援事業 中山間地域において巡回診療を行う医療機関等に補助金を支出した。
 内訳:巡回診療の実施(眼科)及び専門診療科の開設(整形外科)等 108回(735人)
- ⑤交通空白地有償運送通院支援事業 交通空白地有償運送事業者による専門診療科への患者通院支援を行った。
 運行日数:23日、利用者数:33人

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 ICT化 / 収集・分析 事業費 拡大 人工 拡大

在宅医療ICT推進事業では、磐周医師会による天竜区水窪地域を対象に医療・介護に関する調査を実施し、住民の意向や考えを考察・分析・課題整理したほか、引佐地域及び天竜区において、交通困難者等に対するオンライン診療の補助や無医地区を中心とした健康講座等を拡充し、中山間地域における医療基盤の向上を図った。また中山間地域巡回診療等支援事業により、地域住民延べ735人が地域内で専門診療科を受診し、春野地域では専門診療科を受診する方へのNPOタクシーの利用支援(運賃半額対応)により、延べ33人がタクシーを利用して受診した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 ICT化 / 委託・指定管理 事業費 拡大 人工 拡大

中山間地域受診機会確保支援事業により、高齢者施設が行う通所サービス利用者への受診支援について補助し、また地域支援看護師によるオンライン診療を高齢者施設内で受けられるようにするなど、高齢者施設と連携して受診機会を創出し、医療提供体制の確保を図る。

事業シート (事業名) 05 災害時医療救護対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大規模災害が発生した時に、最善の医療救護体制で臨むことができるようにする。また、医療関係団体及び自主防災隊の医療救護活動にかかる知識と技術の習得を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1996	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市医療救護対策委員会要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市						
事業とゴールの 関連性	医療救護計画を改定し、災害時の医療救護体制を強化することで、人々の健康的な生活の確保につながる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,059	23,991	7,283	25,815	20,757	8,258
	決算	10,051	19,685	6,232	22,555	17,079	5,835
	国・県支出	1,672	4,516	1,540	4,400	1,794	808
	市債						
	その他						
	一般財源	8,379	15,169	4,692	18,155	15,285	5,027
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		282		141	308	290	229
人件費(人工分)(B)		7,700	6,300	6,020	4,480	4,480	6,300
人工	正規	1.1	0.9	0.7	0.6	0.6	0.9
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.4	0.1	0.1	
年間経費(決算+A+B)		18,033	25,985	12,393	27,343	21,849	12,364

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
救護所などへの医療資機材の配備・更新率		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野
05

基本政策
02

政策
03

予算費目
01

所属コード
001051000

事業
05

(担当課)
健康医療課

(責任者)
西崎 公康

(基準日)
2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 救護所などへの医療資機材の配備・更新
救護所などへ医療資機材の配備・更新を行った。
- 医療救護対策委員会の開催
2回開催し、災害時の医療救護体制及び訓練状況等を報告した。
- 医療救護計画の改訂
行政区再編や能登半島地震での対応等を踏まえた見直しを行った。
- 医療救護訓練の実施
2023年度訓練にて挙げられた課題等の検証を行った。
- 災害時通信体制の強靱化
災害時通信体制を確保するため病院/診療所、関係団体、行政が参加する「浜松市災害医療ネットワーク」を運用した。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 救護所などへ医療資機材の配備・更新を行った。
- 医療救護計画の改訂を行った。
- 医療機関との情報伝達訓練を行った。
- 医療救護訓練を実施し、医療関係者と市の連携について検討するとともに、前年度訓練にて挙げられた課題の検証を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療救護計画の改訂を行った。
- ・2020年度に導入した「安否確認システム」の医療機関への周知を行った。
- ・災害時医療に従事する医師、歯科医師、薬剤師、行政職員を対象に、災害保健医療コーディネート研修を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2020年度に導入した「安否確認システム」の更なる周知を図る。
- ・災害時医療に従事する医師、歯科医師、薬剤師、行政職員を対象に、災害保健医療福祉コーディネート研修を行う。
- ・旧浜北区において、浜松赤十字病院との救護所医療資器材管理更新業務に係る災害協定に基づく、病院前救護所の体制整備を進める。
- ・医療救護計画の周知を進める。

事業シート (事業名) 06 看護師等養成事業費助成事業(補助金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

看護師及び歯科衛生士の人材育成に係る支援を行い、市内の看護師等の充足を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1980	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師養成事業費補助金交付要綱ほか

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	④教育						
事業とゴールの関連性	質の高い技術を身に付けた看護専門職の担い手が育成されることで、人々の健康的な生活の確保につながる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	54,016
	決算	8,470	8,500	8,350	8,410	8,277	53,475
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,470	8,500	8,350	8,410	8,277	53,475
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		9,170	9,200	9,050	9,110	8,977	54,175

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
看護師養成所の卒業者数(人)		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	79	82	78	74	70	56
歯科衛生士養成所の卒業者数(人)		目標	44	44	44	44	44	44
		実績	44	40	44	39	41	41
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 看護師養成事業費補助金 5,477千円
市内の私立看護師養成所が行う看護学生養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部と医師会立看護師等養成所が行う臨床実習強化対策事業(病院等における現場体験実習)に係る経費の一部を補助した。
 - ・私立看護師養成所看護学生養成事業 3,617千円
交付先 : 浜松市医師会看護高等専修学校、JA静岡厚生連浜松厚生看護専門学校
 - ・看護師等養成所臨床実習強化対策事業 1,860千円 交付先 : 浜松市医師会看護高等専修学校
- 歯科衛生士養成事業費補助金 2,500千円
市内の歯科衛生士養成所で行う歯科衛生士養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部を補助した。
交付先 : 浜松歯科衛生士専門学校
- 看護師養成所施設整備事業費補助金 45,498千円
市内の二次救急病院の開設者が行う看護師養成所の新築、増改築に要する工事費又は工事請負費の一部を補助した。
交付先 : 静岡県厚生農業協同組合連合会



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2024年度実績)

浜松市医師会看護高等専修学校で25人、JA静岡厚生連浜松厚生看護専門学校で31人が卒業した。
浜松歯科衛生士専門学校で41人が卒業した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

看護師の安定的な供給が地域医療の充実のために欠かせないものであるため、補助金を継続する。市内への就職率を継続的に確認した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内への就職率を毎年確認する。

事業シート (事業名) 07 赤十字病院移転助成事業(補助金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

2005年6月7日に浜北市と浜松赤十字病院が締結した覚書等に基づき、浜松赤十字病院の移転を支援し、「新市建設計画」に掲げる市民が安心して暮らせる医療サービスの提供を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	2026	一般会計	自治事務(その他)	浜松赤十字病院施設整備償還費補助金 交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健								
事業とゴールの 関連性	浜松赤十字病院の移転を支援することにより、市民が安心して暮らせる医療サービスの提供を図ることができ、人々の健康的な生活の確保につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	146,254	145,980	132,565	131,280	111,388	112,529
	決算	146,254	145,980	132,545	131,280	111,375	112,529
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	146,254	145,980	132,545	131,280	111,375	112,529
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		146,954	146,680	133,245	131,980	112,075	113,229

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
当初計画に対して、対応できている診療科数(各年11月1日現在)		目標	35	35	35	35	35	35
		実績	37	37	37	39	39	37
当初計画に対して、対応できている医師数(各年11月1日現在)		目標	48	48	48	48	48	48
		実績	52	52	54	58	53	58
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜松赤十字病院に建設に係る元利償還金に対する補助として助成した。
- ・助成するにあたり浜松赤十字病院の2024年11月1日現在の診療体制を確認した。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2007年11月の病院の移転により、2007度から浜松市内の2次救急輪番病院(浜名区内唯一)及び地域医療支援病院(2009年9月指定)、災害拠点病院(2013年7月指定)としての役割を果たした。
- ・2024年11月1日現在、58人の常勤医師が在籍し、外来20.5科、入院16.5科の診療科で診療を行っており、浜名区及び天竜区の住民を中心に医療サービスを提供した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2026年度をもって終了する予定である。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

産科を欠くものの、診療科目は37科、全体数で当初計画を達成している。
産科以外の新たな地域ニーズの変化に対しては診療機能の確保・充実が図られている。
地域医療支援病院、災害拠点病院、在宅医療の後方支援および高齢者医療の充実、浜名区・天竜区からの救急患者受け入れ状況等、当初計画にない新規地域ニーズへ十分な対応をしている要因等を考慮して執行する。

事業シート (事業名) 08 予防接種健康被害救済事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

予防接種法に基づき予防接種を実施した際、健康被害を受けた被害者を救済することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	—	一般会計	自治事務(法令義務)	予防接種法、浜松市予防接種健康被害調査委員会条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	予防接種健康被害救済のための体制を維持していくことで、予防接種を円滑に実施し、伝染の恐れのある疾病の発生・蔓延を予防することとなり、人々の健康的な生活の確保につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	6,650	6,929	7,455	7,011	7,558	209,399
	決算	6,128	6,051	6,553	6,285	7,384	196,259
	国・県支出	3,463	3,218	3,572	3,366	4,132	192,067
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	2,665	2,833	2,981	2,919	3,252	4,192
人件費(報酬等)(A)	35		123	149	113	72	
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	2,940	1,540	2,100	
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.3	0.3	
年間経費(決算+A+B)		7,563	7,451	8,076	9,374	9,037	198,431

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 予防接種健康被害調査委員会の開催
予防接種法に基づく下記の予防接種を受けた方に健康被害(異常な副反応により後遺症が残った場合等)が生じた場合、市は予防接種健康被害調査委員会を開催し、疾病の状況及び診療内容に関する資料収集等を行う。本委員会が調査した資料は国へ送られ、健康被害認定のための資料となる。
ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、麻しん・風しん混合、日本脳炎、ジフテリア・破傷風混合、子宮頸がん予防、水痘、インフルエンザ(成人)、成人用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、新型コロナウイルス
- 予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)
健康被害が予防接種を受けたことによるものであると国が認定した方に対し、予防接種法で定められた額の支給をした。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 予防接種健康被害調査委員会の開催
年度内に2回予防接種健康被害調査委員会を開催し、県を通して国へ進達を行った。
また、新たに予防接種健康被害救済措置申請書の提出があり、予防接種健康被害調査委員会の開催に向けて、必要な資料の収集を行った。
- 予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)
予防接種法で定められた額の障害年金を支給した。これにより、健康被害者の健康維持と福祉の向上に寄与し、社会的公正が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害申請件数の増加

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

法律の定めにより国から市が受託している事務であり、救済の対象者、支給額、支払時期等についても予防接種法等の法令により定められているため、これにより進めていく。また、予防接種の性質上、関係者がいかに注意を払っても、極めてまれに健康被害が起こりうる特殊性を有しているため、現状通り制度を継続する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

予防接種健康被害の申請が提出された場合は、法令に則り、停滞なく進達を行う。
新型コロナウイルスワクチンが定期接種になることに伴い、任意接種による健康被害の給付内容や申請方法がこれまでと異なるため、申請者に適切な案内をしていく。
健康被害認定者への支給を適切に行う。

事業シート (事業名) 09 自殺対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

自殺は個人的な問題として捉えるものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、社会全体で取り組むべき課題であり、総合的な対策を必要とする。様々な分野の関係機関・団体との連携により、セーフティネットの強化を図ることにより、地域の特性に応じた実効性の高い施策を推進し、自殺の防止、自死遺族等への支援の充実等総合的な自殺対策の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2008	—	一般会計	自治事務(法令義務)	自殺対策基本法、第四次浜松市自殺対策推進計画ほか

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	総合的な自殺対策を行うことにより、誰も自殺に追い込まれることのない社会を実現することで、人々の健康的な生活の確保につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,874	2,456	2,749	2,439	2,584	758
	決算	2,252	2,254	2,286	2,299	2,493	553
	国・県支出	1,000	1,000	1,000	1,000	940	
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,252	1,254	1,286	1,299	1,553	553
人件費(報酬等)(A)	70			70	202	70	
人件費(人工分)(B)	2,800	2,800	2,800	3,500	3,500	2,800	
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		5,122	5,054	5,086	5,869	6,195	3,423

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
人口動態統計による前年の自殺率(人口10万人当たりの自殺者数)		目標	13.5	12.9	12.5	12	11.7	11.3
		実績	14.0	13.7	13.3	15.4	17.7	2025.9頃確定
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 第四次自殺対策推進計画の施行
自殺対策基本法第3条に基づき、2024年度から2028年度までを計画期間とした第四次計画を施策を実行した。
- 自殺対策連携会議の開催
自殺対策連携会議を実施した。
- いのちをつなぐ手紙事業(普及啓発)の実施
本市独自の事業である「いのちをつなぐ手紙」で、命の大切さや自殺予防について更なる市民への啓発を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 第四次自殺対策推進計画に登載されている対策事業を関係各課で推進した。
- 自殺対策連携会議を実施した。
- 相談機関一覧表を配布し周知を行った。
- 自殺対策連携推進員研修を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 現時点で確定している本市の自殺者数(2023年・人口動態統計)では138名で、前年の121名から増加、自殺死亡率(2023年17.7、2022年:15.4)も増加傾向である。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 第四次計画に基づき、引き続き関係課による事業を継続実施し、更なる自殺対策の推進を図っていく。

事業シート (事業名) 10 健康医療デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

健康医療課(健康医療総務費)のデジタルに関連する経費。
本市の「デジタルファースト宣言」に基づき、デジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進することで、市民のQOLの向上を図るもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			14,342	14,941	14,732	13,170
	決算			12,917	14,023	13,947	12,932
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			12,917	14,023	13,947	12,932
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				12,917	14,023	13,947	12,932

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

05

基本政策

02

政策

03

予算費目

01

所属コード

001051000

事業

10

(担当課)

健康医療課

(責任者)

西崎 公康

(基準日)

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

--



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

事業シート (事業名) 11 健康医療運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,957	1,834	1,823	1,622	1,982	3,061
	決算	1,742	1,509	1,333	1,549	1,755	2,654
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,742	1,509	1,333	1,549	1,755	2,654
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	11,580	12,660	12,660	10,840	10,840	11,740
人工	正規	1.5	1.5	1.5	1.2	1.2	1.3
	再任用(31h)	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1	0.1	0.3
年間経費(決算+A+B)		13,322	14,169	13,993	12,389	12,595	14,394

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

05

02

03

01

001051000

11

健康医療課

西崎 公康

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

--



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

--

政策シート 政策名 03 地域医療・地域包括ケアの推進

予算費目名 03 病院会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
・経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	586,427	623,994	687,244	549,305	632,454	727,208
決算	584,328	604,037	686,732	516,962	628,922	727,199
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)						
年間経費(決算+A+B)	584,328	604,037	686,732	516,962	628,922	727,199

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
経常収支比率100%以上を維持	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96	100	100	92	102	108
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。
・経常収支比率100%を概ね堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。
・経常収支比率100%を概ね堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	病院事業会計負担金	—	—		727,199	727,208					
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					727,199	727,208					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 病院事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

佐久間病院事業の安定化を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、佐久間病院に対し病院事業会計負担金を支出する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	一般会計	自治事務(その他)	医療法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健					
事業とゴールの 関連性							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	586,427	623,994	687,244	549,305	632,454	727,208
	決算	584,328	604,037	686,732	516,962	628,922	727,199
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	584,328	604,037	686,732	516,962	628,922	727,199
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		584,328	604,037	686,732	516,962	628,922	727,199

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経常収支比率100%以上を維持		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96	100	100	92	102	108
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	03	03	001075000	01	佐久間病院	北野谷卓治	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 浜松市国民健康保険佐久間病院負担金
- 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する負担金
 - ・救急告示病院負担金
 - 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する負担金
 - ・不採算地区病院運営費及びへき地医療の実施要する費用他
 - ・公立病院附属診療所運営費負担金
 - ・児童手当給付に要する経費
 - ・医師確保対策に要する経費不足分
 - ・建設改良に必要な費用 (医療機器)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

病院事業会計への支出金について、地方交付税の算定基準及び地方公営企業繰出基準に基づいた算出方法とした。

これに基づき、佐久間病院に対する負担金の支出により、地域医療水準を維持するとともに、安全・安心な医療を提供することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

「令和7年度地方財政対策の概要(総務省自治財政局R6.12.27)」により、不採算地区病院等への特別交付税措置の基準額引上げの継続など、不採算地域やへき地医療における医療提供体制の確保について示された。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。

政策シート 政策名 03 地域医療・地域包括ケアの推進
予算費目名 04 浜松市病院事業会計(佐久間病院)

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
・経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,414,823	1,435,137	1,396,836	1,322,317	1,381,325	1,588,444
決算	1,346,571	1,333,024	1,204,976	1,243,996	1,196,396	1,588,435
人件費(報酬等)(A)	103,811	98,201	29,828	21,201	28,370	23,191
人件費(人工分)(B)	550,800	470,200	432,400	421,200	396,600	417,600
年間経費(決算+A+B)	2,001,182	1,901,425	1,667,204	1,686,397	1,621,366	2,029,226

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
経常収支比率100%以上を維持	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96	100	100	92	102	108
医療機器の整備	台	目標	3	7	3	3	3	3
		実績	3	7	3	3	3	3
看護師修学資金新規貸与者	人	目標	2	2	2	3	3	3
		実績	3	0	2	3	4	1

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。
・経常収支比率100%を概ね堅持する安定的な病院運営、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。
・経常収支比率100%を概ね堅持する安定的な病院運営、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)	-	○		1,914,547	1,473,765	54.0	4.0		9.0	23,191
2	浜松市病院事業(佐久間病院資本的支出)	-	○		114,679	114,679					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,029,226	1,588,444	54.0	4.0		9.0	23,191

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所を運営し、持続可能な地域医療提供体制を確保するとともに、地域住民の保健・福祉事業の中心的な役割を担い、安全安心な医療を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健						
事業とゴールの関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,318,890	1,281,275	1,334,141	1,262,231	1,312,670	1,473,765
	決算	1,251,969	1,205,076	1,143,651	1,184,522	1,130,142	1,473,756
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	703,687	650,228	481,446	689,970	525,659	746,557
	一般会計繰入金	548,282	554,848	662,205	494,552	604,483	727,199
	人件費(報酬等)(A)	103,811	98,201	29,828	21,201	28,370	23,191
	人件費(人工分)(B)	550,800	470,200	432,400	421,200	396,600	417,600
人工	正規	68.0	59.0	54.0	54.0	51.0	54.0
	再任用(31h)	6.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	19.0	14.0	13.0	9.0	9.0	9.0
年間経費(決算+A+B)		1,906,580	1,773,477	1,605,879	1,626,923	1,555,112	1,914,547

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経常収支比率100%以上を維持		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96	100	100	92	102	108
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○佐久間病院と2箇所の附属診療所の運営

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供する。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行う。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組む。
- ・医師等の確保対策に取り組み、病院運営の基盤を整備する。
- ・がん診療連携拠点病院との連携による画像読影、がん相談支援事業を実施し、がん対策推進計画を推進する。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供した。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行った。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組んだ。
- ・医師等の確保対策に取り組み、病院運営の基盤を整備した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

医師高齢化による民間医療機関の減少や地域包括ケアシステムの中での多職種連携によるチーム医療の重要性などから、山間地における自治体病院としての役割が増大している。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。

事業シート (事業名) 02 浜松市病院事業(佐久間病院資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所の運営に必要な医療設備の充実を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保する。看護師修学資金貸与事業により看護師の確保に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健					
事業とゴールの 関連性							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	95,933	153,862	62,695	60,086	68,655	114,679
	決算	94,602	127,948	61,325	59,474	66,254	114,679
	国・県支出						
	市債						
	その他	58,556	78,759	36,286	37,064	41,815	83,169
	一般財源						
	一般会計繰入金	36,046	49,189	25,039	22,410	24,439	31,510
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		94,602	127,948	61,325	59,474	66,254	114,679

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
医療機器の整備		目標	3	7	3	3	3	3
		実績	3	7	3	3	3	3
看護師修学資金新規貸与者		目標	2	2	2	3	3	3
		実績	3	0	2	3	4	1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 医療機械器具等の整備
- 企業債元金償還
・病院事業債償還
- 看護師確保対策
・看護師修学資金貸与事業



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

診療に必要な医療機器3台を整備し、身近な地域で適切な医療サービスを提供することができた。また、企業債元金償還金については、償還計画に基づき執行した。

看護師修学資金貸与事業において新規に1名の学生に貸与し、看護師確保に取り組んだ。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

高齢化の進行に伴う看護ニーズの高まりにより看護師需要の増加が見込まれる中、少子化による若年人口の減少と医療・看護の高度化、複雑化により、看護学生確保への影響が予想される。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

診療に必要な医療機器を整備し、身近な地域で適切な医療サービスを提供することができた。また、看護師確保を目的とした看護師修学資金貸与事業は目標を下回るも新規貸与者を確保することができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

診療に必要な医療機器を整備し、身近な地域で適切な医療サービスを提供していく。また、看護師修学資金貸与事業は今後も継続して募集を行い看護師確保に取り組んでいく。